

【韓国】科学技術情報通信部長官と通信キャリア 3 社代表がコロナ被害対策議論。5G 投資前倒し実施へ

チェ・ギヨン科学技術情報通信部長官は 3 月 5 日、コロナ新型ウィルス対策として景気回復と中小・自営業者の支援策を議論するため通信キャリア 3 社代表と緊急懇談会を開催。その結果、5G 投資の前倒しと零細事業者対象の通信料金減免、キャリアショップの資金支援を実施することになった。

通常インフラ投資は下半期に集中していたが、2020 年度は上半期にキャリア 4 社（SK テレコム、KT、LG U+、SK ブロードバンド）は投資規模を当初予定の 2.7 兆ウォンから 4 兆ウォン（約 4,000 億円）に拡大。これにより、5G 利用者が多いスペースとして、地下鉄、鉄道、大規模店舗、大学等の大衆施設のインフラ整備に集中投資する。

コロナウィルス感染者の経路等で休業や経済的被害が集中する零細事業者対象に携帯電話とブロードバンド等の通信料金減免を実施する。支援内容の詳細は関係省庁と自治体で被害規模が把握され次第早急に決定する。また、携帯加入者減少で打撃を受けているショップには運営資金支援や端末売掛購入に対する債権延長（利息猶予）、販売目標下方修正等で総合的に支援する方針。また、大邱や慶尚北道といった被害集中地域に対しては、販売目標を引き下げながらも奨励金水準は維持し営業利益を補填する形で支援を厚くする。